

2026年8月31日
商工中金

**分散型電力インフラの構築に取り組むスタートアップ
株式会社操電を金融面からサポート**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）のスタートアップ営業部は、株式会社操電（本社：千葉縣市川市、代表者：飯野 塁）に対し、事業拡大に必要な資金として、5億円の融資枠を開設しました。

同社は、蓄電池とソフトウェアを活用し、分散型の電力インフラの構築に取り組むスタートアップ企業です。エネルギー設備の開発から設置・運用までを一貫して手掛け、これらを統合制御する VPP（※）事業を展開しています。

※ 蓄電池や太陽光発電設備など、分散した電力設備をソフトウェアで統合制御し、一つの発電所のように機能させる仕組み

今回同社は、調達する資金を活用し、蓄電池関連事業の拡大を進め、更なる事業成長を目指します。

商工中金は、経営者や関係機関へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。同社の取り組みは、電力需給の安定化に貢献するものと考え、本融資契約を締結しました。なお、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に則り、無保証としています。

商工中金は、革新的な製品・サービスにより社会課題を解決しようとするスタートアップ企業の皆さまのサポートを通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【株式会社操電の概要】

所在地	千葉縣市川市相之川 1-17-20
代表者	飯野 塁
資本金	3億2,990万円
従業員数	71人（2026年8月現在、グループ連結）
設立	2022年6月
業種	分散型蓄電所、系統用蓄電所、太陽光発電、 発電所運用管理、EV充電サービスの開発

